

2015年（平成27年）12月16日・水曜日

ケ  
た  
度  
が  
遅  
い  
点  
や  
、  
酵  
素  
の  
つ  
た  
。

# 大 記憶の伝達機構解明

## 東 受容体輸送分子を特定

よ  
し  
利  
子  
、  
程  
ケ  
た  
度  
が  
遅  
い  
点  
や  
、  
酵  
素  
の  
つ  
た  
。

東京大学大学院医学系研究科の廣川信隆特任教授、武井陽介元准教授（現筑波大学教

国立がん研の落谷孝広分  
野長の研究室で研修生と  
して修行することになっ  
た。博士課程の時、落谷

に送られる仕組みを解明した。細胞内輸送のカギとなる分子を明らかにした。記憶や学習の研究に加え、認知症や統合失調症の治療に役立つと期待される。

記憶の形成には、神経伝達物質のグルタミン酸と結合するNMDA型グルタミン酸受容体が、シナプスへ安定

「かつき」の金星軌道へ